



# ひまわり



## 特集：2A成人病棟

## ～ 障害者等施設基準の病棟について ～

茨城県立医療大学付属病院はリハビリテーション専門病院です。2A・3A・3Bの3つの病棟があり、そのうちの2Aと3Bが障害者等施設基準の病棟です。障害者等施設基準の病棟とは、右記の対象疾患の患者さんをお受け入れしています。2Aが成人病棟、3Bが小児病棟となっています。

今回は、2A成人病棟特集です。

### < 2A成人病棟について >

2A成人病棟では、急性期病院から転院される患者さんのほか、ご自宅へ退院した後も「前より筋力が低下したので、集中的にリハビリを受けたい!」「車いすや装具の調整をしたい。」等により、入院してリハビリテーションをおこなうことがあります。

入院後のリハビリテーションの内容は、入院時に、多職種でお身体の状態を確認させていただき、どのようなリハビリテーションや支援が必要かを検討いたします。そして、患者さんやご家族と、目標や課題を共有しながらリハビリテーションをすすめていきます。

入院でのリハビリテーションをご希望の方はまず主治医にご相談ください。

入院相談は以下のように受け付けております。

### 障害者病棟対象疾患

1. 重度肢体不自由者（脳卒中後遺症、認知症を除く）  
\* 肢体不自由の身体障害者手帳1・2級所持者（所持していない場合は同程度の身体状況の方）
2. 脊髄損傷等の重度障害者
3. 重度意識障害者  
\* 意識障害レベル JCSでII-3（または30）以上またはGCSで8点以下の状態が2週間以上続いている  
\* 脳卒中後遺症、認知症を含め、原因疾患を問わない  
\* 但し、脳卒中後遺症による重度意識障害は、「医療区分」評価を行う
4. 神経難病患者等
  - 筋ジストロフィー患者
  - パーキンソン関連疾患  
進行性核上性まひ、大脳皮質基底核変性症、パーキンソン病（ヤール分類ステージ3以上であって、生活機能障害度がⅡ度又はⅢ度に限る）
  - 多系統萎縮症  
線条体黒質変性症、オリブ橋小脳萎縮症、シャイドレドレーガー症候群
  - 多発性硬化症
  - 重症筋無力症
  - 筋萎縮性側索硬化症
  - スモン病
  - 脊髄小脳変性症
  - ハンチントン病
  - プリオン病
  - 亜急性硬化性全脳炎
  - ライソゾーム病
  - 副腎白質ジストロフィー
  - 脊髄性筋萎縮症
  - 球脊髄性筋萎縮症
  - 慢性炎症性脱髄性多発神経炎
  - もやもや病（ウイルス動脈輪閉塞症）

### 当院外来通院中の患者さん・ご家族からの入院相談

主治医へご相談ください。入院申し込み手続きを行い検討します。

### 他院通院中の患者さん・ご家族からの入院相談

外来予約に関する相談は、予約専用電話へご連絡ください。

当院についての問い合わせは総合相談室へご相談ください。

予約専用電話：029-888-9201 9:00～12:00・13:00～15:00（土日祝祭日を除く）

総合相談室直通：029-888-9212 9:00～16:00（土日祝祭日を除く）

### 他院入院中の患者さんの転院相談（医療機関からのみの窓口です）

現在入院中の医療機関で転院の相談をします。紹介元の医療機関より当院地域連携室へ連絡調整の上検討します。

地域連携室：029-840-2980 10:00～12:00・13:00～16:00（土日祝祭日を除く）

# 脊髄損傷のリハビリテーション例

## <理学療法>

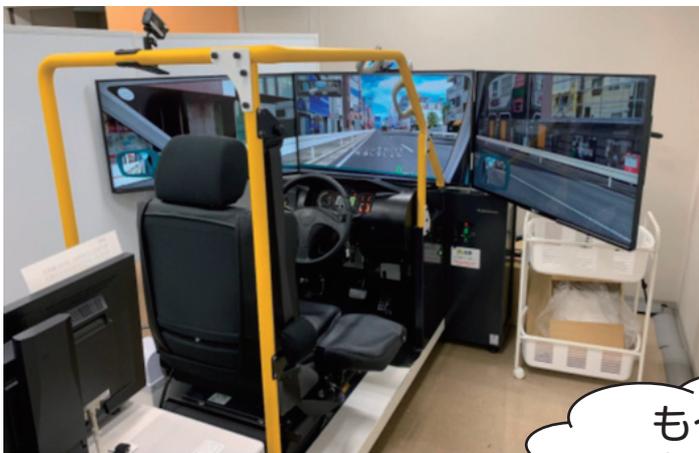
脊髄損傷の患者さんに必要と考えられる基本動作（寝返り、起き上がり、ベッドや車椅子への乗り移り等）の練習や、患者さんの麻痺の程度を評価したうえで、立ち上がり練習、歩行練習などを提供しています。必要に応じて、下肢をサポートする下肢装具や先進的なロボットや歩行支援機器を導入し、積極的に歩行獲得に取り組んでいます。



少しでも歩けるようになりたい！！

## <作業療法>

自宅復帰や復職に向け、手動運転装置を使用したドライビングシミュレーターでの自動車運転評価をおこなっています。また、自動車への乗り降り練習を行っています。



もういちど運転がしたいな



## <臨床心理>

患者さんやご家族の方が抱える悩みや日常生活で感じていることをうかがい、一緒に考え、不安を解消できるように支えていきます。



どうしたらよいのかしら。



介護がうまくいかない

## <介護の悩み・疑問など>

看護師から適切な介護方法をご説明いたします。また、現在利用しているサービスの見直しなど、それぞれの生活やご希望にあった環境作りをお手伝いします。



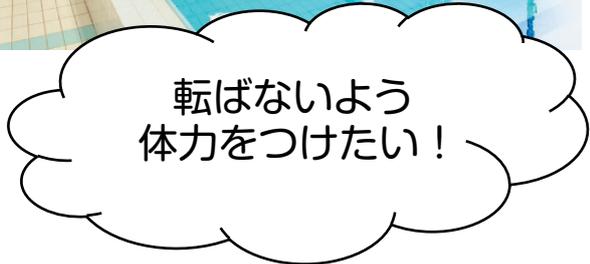
# 神経難病のリハビリテーション例



## <理学療法・作業療法>

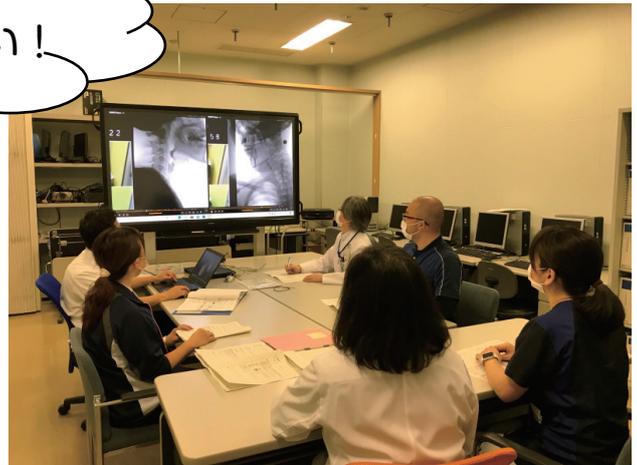
患者さんの個別の症状に応じて、トレッドミル（ウォーキングマシン）などの運動機器、運動支援のためのロボットを用いた歩行練習、水治療法などの運動療法を行います。また、自己トレーニングの指導や、より良い生活を送るために必要な装具、福祉用具、自助具の紹介等を行います。

自宅内で転倒が増えてきたなど、在宅生活でお困りの点がある場合には、必要に応じて家屋訪問を行い、住宅改修のアドバイスも行います。



## <言語療法>

嚥下障害のある患者さんに対し、嚥下訓練や食事形態・食事方法・食事環境のアドバイスを行います。ご家族の方には介助方法や食事の作り方などをご指導します。また、当院では対象となる患者さんにVF（嚥下造影検査）やVE（嚥下内視鏡検査）などの専門性の高い嚥下機能検査を実施しています。



## <栄養科>

患者さん一人ひとりの栄養状態に合った食事内容や量を確認し、飲み込みやすさや嚥下訓練に適したお食事、食器具もご用意しております。退院後も元気に生活できるよう食事相談も行っていますので、管理栄養士と一緒に考えていきましょう。



## 茨城県立医療大学付属病院の理念

患者さん本位の、安全で良質なリハビリテーションを中心とした医療を行い、患者さんが住み慣れた地域で、安心して、その人らしく生活できるように支援します。

### ●基本方針●

- 1 患者さんの尊厳を第一に考え、安全で信頼性の高い医療を行います。
- 2 より良いチーム医療を行い、質の高い医療を提供します。
- 3 先進的なリハビリテーション医療の開発と実践を通して社会に貢献します。
- 4 県内リハビリテーション医療のレベル向上に努めます。
- 5 医療人としての誇りと、豊かな人間性を持った医療専門職の育成に努めます。
- 6 健全な経営に努めます。

## 医療機関のみなさまへ

### ◆◆◆画像診断サービスのご案内◆◆◆

当院では、画像診断サービスを地域の皆様に提供しています。リハビリテーション関連の疾患に限らず、画像診断に関することは広くご相談に応じます。

※他の医療機関の医師からの紹介が原則です。

#### ～検査内容～

- ・一般X線撮影
- ・X線骨密度測定
- ・CT検査
- ・核医学検査
- ・MRI検査
- ・超音波検査

●本サービスを希望される場合は、医療機関からの電話による予約が必要となります。

TEL：029-888-9213

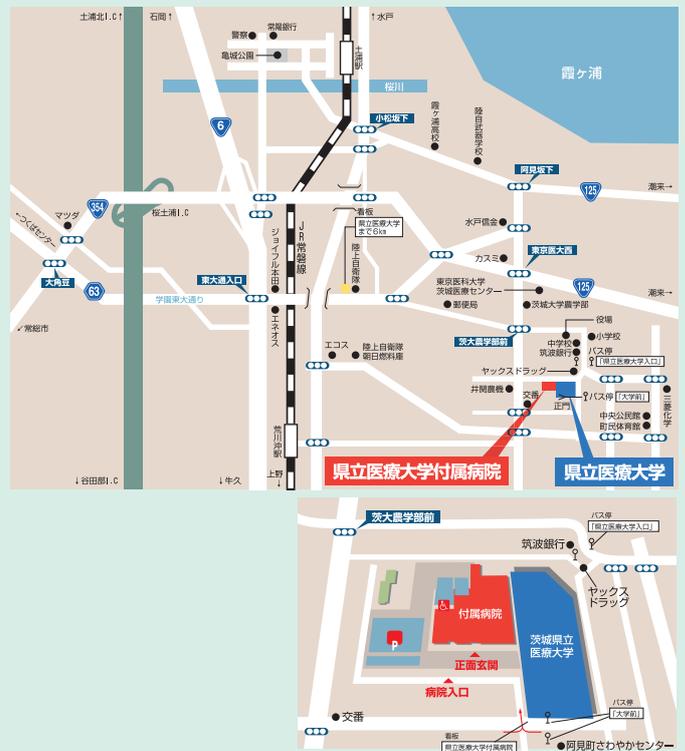
FAX：029-888-9274

詳しくはホームページをご覧ください。

### ～令和3年度診療実績～

- 延外来患者数 19,361人  
(1日平均 80.00人)
- 延入院患者数 33,173人
- 新入院患者数 516人
- 退院患者数 512人
- 平均在院日数 63.54日

## 当院へのアクセス



### ●鉄道・バスをご利用の場合

JR常磐線 土浦駅または荒川沖駅で下車

□土浦駅（西口）からバスで約25分

「阿見中央公民館」で、「県立医療大学入口」下車、徒歩約8分

□荒川沖駅（東口）からバスで約25分

「県立医療大学行」で終点下車、徒歩約3分

### ●お車をご利用の場合

□常磐自動車道「桜土浦IC」より約25分



# 茨城県立医療大学付属病院

Ibaraki Prefectural University of Health Sciences Hospital

〒300-0331 茨城県稲敷郡阿見町阿見4733

TEL.029-888-9200(代) ホームページ <http://www.hosp.ipu.ac.jp/>

